



木に包まれて、趣味を楽しむリタイア後の住まい



趣味の場を「離れ」のようにプランニング

300m²の広さをもつこの住宅は、セイリッシュ海を一望する高台に、施主のリタイア後の生活の場として建てられました。

中央の玄関ホールを挟んで、東西2ブロックから成り、2階は渡り廊下でつながっています。東側のブロックは、1階にLDKを設け、2階は施主のスイートルームなどのプライベート空間を配置した生活ゾーン。道路に近い西側のブロックは、「離れ」感覚で、趣味の作業室と2台の車が収容できるガレージを設けてあります。その2階はゲストルームになっています。



エクステリアに石・木など自然の素材を使用

外装には、石材と塗装されたウエスタンレッドシダーのサイディングが使用されています。シダーは、ガレージ前のパブリックな場とプライベートな通路を仕切るスクリーンの材料にも使われています。この満月を模した円形を切り抜いた格子は、盆栽ルームの窓と向かい合っているため、施主の盆栽コレクションをガレージ前から垣間見ることができます。



梁、内装、家具まで五感にやさしい木を多用

木製の玄関ドアは、木が醸し出す趣を内部へとつなげています。木材は、玄関ホールからリビングへ入る開口部の枠から、LDのフローリングや天井の梁、キッチンキャビネットの扉や作業台にも使用され、安らぎを感じる空間となっています。

また、天井面に向けた間接照明により、夜はソフトな明かりに包まれ、心地よさはいっそう深まります。



所在地：カナダ ブリティッシュ・コロンビア州クアリカムビーチ

設 計：フック・ウェング・チャン

竣 工：2011年6月

Photo & Report : [Peter Powles](#)

【無断転載禁止】

本ページ掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。